

## 子どもへの意見聴取ワーキンググループの進捗状況について

### 1. ワーキンググループメンバー(※敬称略、五十音順)

相川 梓、相川 裕、粉川 潔、田谷 幸子、野村 武司、松山 晶

### 2. 打合せ実施日

第1回 令和3年3月17日(水) 18時00分～20時00分

議題:スケジュールの確認、高校生等への意見聴取について 等

第2回 令和3年3月26日(金) 13時00分～15時00分

議題:高校等へのアプローチ結果について、高校での出前授業の内容について等

### 3. 議論の進捗

#### (1) 高校生等への意見聴取について

##### <検討の方針>

区として把握する機会が少ない高校生世代や困難を抱えやすい子どもへの意見聴取を重点的に実施する。

##### <打合せでの主な意見>

- ・区内高校(都立・私立・国立)での出前授業もしくはアンケート、チラシの配布を行う。
- ・ハイティーン会議のメンバーに意見聴取を実施する。
- ・国際交流協会や特別支援教室等、困難を抱えやすい子どもへの意見聴取を実施する。
- ・条例を作ることに對する子どもの意見を聴けると良い。
- ・子どもたちがワクワクするような、夢のある条例を作りたい。
- ・中野を支えていく人材を育てていくには、子どもが中野区を好きでいることが大切である。どうしたら好きになってもらえるのかを考えなければならない。

## (2) 高校等へのアプローチ結果について

### <結果>

- ・区内高校1校で出前授業を実施する(予定)。また、2校でアンケートの配布、3校で Webアンケートの周知チラシの配布を行う。
- ・令和2年度ハイティーン会議のメンバー16名にアンケートを実施する。
- ・国際交流協会、無料塾等で出前授業もしくはアンケートを実施する。
- ・特別支援教室とフリースクールでの意見聴取についても、調整中である。

### <打合せでの主な意見>

- ・出前授業の内容について議論した。
- ・Web アンケートと同様の3つの質問について意見を聴取する。
- ・条例を作ることで、高校生にとっては「自分たちの声をくみ取ってもらえる(意見表明)」、「子どもの視点に立った政策立案がなされる」というメリットがある。
- ・条例を作ったことでどうまちが変わったか、他自治体の事例などを話せると良い。

## 4. 今後の予定

区内高校や国際交流協会等で実施する出前授業の内容や実施方法について、先方の職員と調整をしながら検討を進める。